



かわごえちょう 川越町

わたしの町を

しょうかいしよう

ふる 古くから 伝わる お祭りや 行事

かわごえちょう 川越町に すんでいる あゆみさんは かわごえちょう 川越町に 伝わる お祭りや 行事を しょうかいした 新聞を おくってくれました。
かわごえちょう 川越町には、どんな お祭りや 行事が あるのでしょうか。



かわごえ新聞

お祭り特集

足上げまつり

かわごえちょう 川越町では、毎年8月14日の おぼんの 夜、小学生も、たいまつを かつぎ、大だいこと かねを たたいて、神社まで 歩きます。

この時、子どもたちは「アーソーレ」と かけ声を かけて すすみませす。つぎに、「シーシー」という かけ声に あわせて ひざを まげ、足を 上げます。



たいまつを かつぐ 子どもたち



大だいこを たたく 子どもたち

神社に つくと、青年だんの 人たちが 広場の まん中に つくられた「しんばしら」を かこんで「エンエトホラホラ」と 言いながら かた足で とぶようにして 回ります。

いもち

「いもち」は、「虫おくり」とも 言われます。「いもち」は、いねに つく がい虫を たいじ して、その年の ほう作を ねがいます。

子どもたちは、たいこが のせてある 車を ひき、その 先頭を わらで つく たいまつに 火を つけて 町内を 歩きます。

今では このような 行事を 行う 地くは 少なくなりましたが、川越町では 今でも 毎年 7月の おわりごろに 行われています。



「いもち」は、いねの はを からしてしまう「いもちびょう」のことです。



たいこを ならしながら、たいまつを ともし、がい虫や びょう気を おいはらいます。

いしどり どり まつり
石採(取)祭

いしどり どり まつり
石採(取)祭は、夏の お祭り です。しょうがくせい ちゅう
がくせい
学生が、「さいしゃ」とよばれる くるま 車を ひき そこに
とりつけられた かねや たいこを リズムよく 大きな
おと
音で うちならし、あまりの おと 音の 大きさに、となりの
ひと はな 人の 話す声も 聞こえないくらいです。



さいしゃを ひく ようす



よる 夜に なり、ちようちんに
あかりが ともされています



かねや たいこを うちならしている
しょうがくせい ちゅうがくせい
小学生や 中学生たち



「私たちの川越町」(川越町教育委員会)ほかから作成

ちゅうがくせい
中学生の おねえさんに ききました

いしどり どり まつり
石採(取)祭のことを いえ はな 家で 話したら「かわごえちよう
かわごえちよう
川越町の
ほかにも いしどり どり まつり
石採(取)祭は いろんな ところで 行われ
ていよ」と おねえさんが おし 教えてくれました。ちゅうがくせい
中学生用の
「みえ ぶんか
三重の文化」という ほん 本には、くわなし 桑名市の いしどりまつり
石取祭が
「にほんいち
日本一やかましいまつり」とよばれている ことや、
とういんちよう とういんちよう
東員町、よつ 四日市市、すず 鈴鹿市でも 行われている ことが
書いてあるそうです。かくちの 石取祭は、どれも 7~
10月に 行われて、たいこや かねで 大きな音を なら
して「さいしゃ」を ひきながら 町を 歩く ようすが
にているそうです。

かんが
考えてみよう

- 1 かわごえちよう
川越町の お祭りや 行事で おもしろそうだと 思ったところは どんな ところ
ですか。
- 2 お祭りや 行事に しょうがくせい
小学生や ちゅうがくせい
中学生が 参加している ことを どう 思いま
すか。
- 3 あなたの すんでいる 町にも お祭りや 行事は ありますか。それは、どん
な お祭りや 行事ですか。
- 4 あなたの すんでいる 町のお祭りや 行事についてしらべ、すてきな と
ころを しょうかいして みましょう。